

日本の伝統行事に欠かせない 端午の節句を祝う花 県内一大産地「花菖蒲」出荷本格化へ！

JAあいち海部早尾花卉組合（組合長：渡辺 勝）が栽培する「花菖蒲」の出荷が4月下旬にピークを迎えます。花菖蒲は5月5日のこどもの日（端午の節句）に用いられ、同組合では「紫雲（むらくも）」を中心に7品種を栽培しています。木曽川の伏流水に恵まれた立地条件を活かし、県下1位の生産量・産出額を誇ります。

JAあいち海部「早尾花卉組合」栽培概況

栽培地域：愛西市早尾町
栽培面積：125 アール
栽培戸数：10 戸
流通先：全国（東北から岡山）
収穫時期：3月上旬から6月中旬
最盛期：4月下旬から5月上旬



目揃え会の様子（令和6年度撮影）



葉菖蒲は「サトイモ科」、花菖蒲は「アヤメ科」でどちらもまったく異なる植物です。花菖蒲は、アヤメ科アヤメ属の植物で、原種はノハナショウブと呼ばれる野生種を改良した園芸品種です。花菖蒲の由来は 端午の節句にお風呂に入れる葉菖蒲に葉の形が似て、美しい花が咲くことからきています。

＜早尾花卉組合花菖蒲の特徴＞

端午の節句で用いられる花菖蒲はビニールハウスを用いた促成栽培により、自然栽培よりも早く開花時期を迎えます。

切り花として蕾の状態での収穫、出荷されています。同組合では取扱品種が多く、7品種の出荷を行っています。「紫雲（むらくも）」・「燭光錦（しょっこうにしき）」・「黄金（こがね）」・「初霜（はつしも）」・「日の出鶴（ひのでづる）」・「群青（ぐんじょう）」・「立田紫（たつたむら）※オリジナル品種」

【メディア対応日】

開催日：**4月中旬から5月上旬（最需要期は4月末から5月頭まで）**

※ご連絡をいただけましたら、日程を調節いたしますので、事前にご一報ください。

場 所：JAあいち海部 れんこんセンター（愛知県愛西市早尾町晩稲場36-1）

内 容：出荷場での出荷風景の撮影

【お問い合わせ】

JAあいち海部企画部企画課（広報担当：中村）

TEL：0567-28-6760 FAX：0567-28-6655

E-mail：sougoukikaku@ja-aichiama.com HP：http://www.ja-aichiama.com/

公式HP

